



# 八中だより

「自律・貢献・志」

No. 12 令和5年9月29日 京都市立八条中学校

～学ぶことが楽しいと実感できる学校～

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

4月18日(火)に、本校3年生88名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について結果がまとまりました。今年度は、初めて英語のテストも実施されました。また、家庭での過ごし方や学習時間、学習に向かう姿勢などを問う調査も実施されました。

### 八条中学校の取組

#### ～3年生 放課後学習会～

10月からは、3年生の放課後学習会が始まります。基本的には15:30～16:30の約1時間、教員や学生ボランティアが入り、自分の課題に取り組んでいきます。

今年は、個に応じた学習を行うために3つのグループに分けて実施する予定をしております。

#### ～総育・学ボラ～

4月より、総合育成支援員・学生ボランティアが来ています。

総合育成支援員は、主に授業内で支援が必要な生徒のサポートを行っています。

学生ボランティアは、授業内での教員のサポートが中心ですが、生徒の質問や課題のサポートなども行っています。また、学校行事などのサポートもしています。

半年で人数も倍に増えて、約15名の学生が来ています。主に授業や「八条タイム」のサポートをしてくれています。

#### ～八条タイム～

八条中学校では、月1回、水曜日の放課後に「八条タイム」を実施しています。学年ごとに少しずつ形態は異なりますが、各学年で1時間程度の学習時間を使って、学力の補充と保障を行っています。GIGA端末を使って「ミライシード」に取り組んだり、YouTube等を活用して自分の苦手な分野を学習したり、それぞれで教え合ったりしています。

基本的には自学自習ですが、学生ボランティアのサポートもあります

このように、八条中学校ではさまざまな取組を行い、学力の補充や保障を進めております。来年度に実施される全国学力・学習状況調査では、この取組の成果が出せるようにしていきたいと思っております。

また、学校評価でも家庭学習の時間が少ないというデータもありました。子どもたちの学力向上のために、学校・保護者が協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 国語の結果

「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の2領域について、全国平均を上回る結果となりました。「読むこと」の領域においては積極的な解答が見られ、二つの文章に共通する表現の効果を説明したのとして適切なものを選ぶ問題では全国平均を上回る正答率となりました。読み取りに関しては力がついてきていますが、現代語で書かれた「竹取物語」の工夫を古典作品と比較して考える問題には課題が見られました。

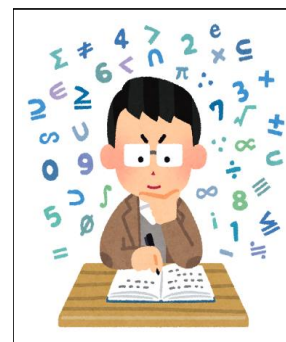


一方で、「書くこと」に対する苦手意識が強いと考えられます。文章を書く際には、語彙力が必須となります。日頃から様々な言葉に触れ、その言葉をどんどん使っていくことで語彙力は培われるため、多様な場面で言葉を交わし、自らを表現する言葉を身につけていってほしいと思います。

## 数学の結果

「A 数と式」、「B 図形」、「D データの活用」の3領域で全国平均を下回りました。特に、「図形」に関しては正答率が低く、改めて学習する機会を設定する必要性を感じました。

「C 関数」については全国平均を上回ることができました。しかし、全体としてはまだ足りていないことの方が多く、卒業までに身につけていないことを補充していきます。



問題の種類別にみると、「選択式」「短答式」に関しては全国平均より低かったのですが、「記述式」に関しては全国平均を上回りました。このことから、本校生徒は解答の意欲は高く、課題に挑戦する姿勢を持っている一方で、基礎的な知識や技能が十分に備わっていないことが分かりました。十分に身につけられていなかった基礎的な知識・技能を育むことでより一層記述式の問題等、汎用的な課題に対しても対応できるよう日々の授業で取り組んでいきます。

## 英語の結果

観点Ⅰ「知識・技能」の領域では全国平均をわずかに下回りましたが、観点Ⅱ「思考・判断・表現」の領域では全国平均を上回る結果がでました。各技能別に分析すると以下のような特徴と課題があります。

・「聞くこと」：イラストを用いた問題内容は得意とするが、会話や話を聞き、それに対してもっとも適切な内容を選択する問題では正答率が低い。

・「読むこと」：どの問題においても、全国を大きく上回ることができた。

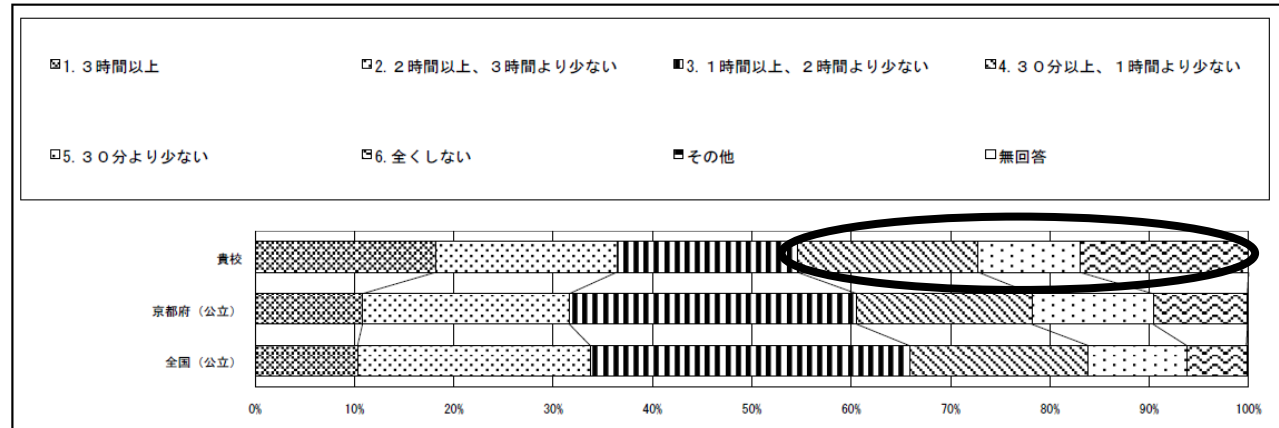
・「書くこと・話すこと」：全体的にどの問題においても全国平均を大きく下回る。特に、決められた条件（文法）を用いて表現することが苦手と結果から読み取れる。書くことは、全国的に無回答率が高い傾向だが、本校は無回答率が全国平均と比べ低い。苦手意識がありながら、粘り強く取り組んでいる姿勢が感じられる。また話すことでは、その領域の知識がないと答えられない問題（例えば「環境について」）が多く含まれていたため、英語としての言語だけでなく、教科書の単元に含まれる世界の動きや問題なども伝え、一緒に考え、言語に結び付けることが大切である。

今後は、得意である、「読むこと」から苦手分野である「書くこと・話すこと」につなげる学習方法を大切に、全領域のレベルアップを図っていききたいと思います。

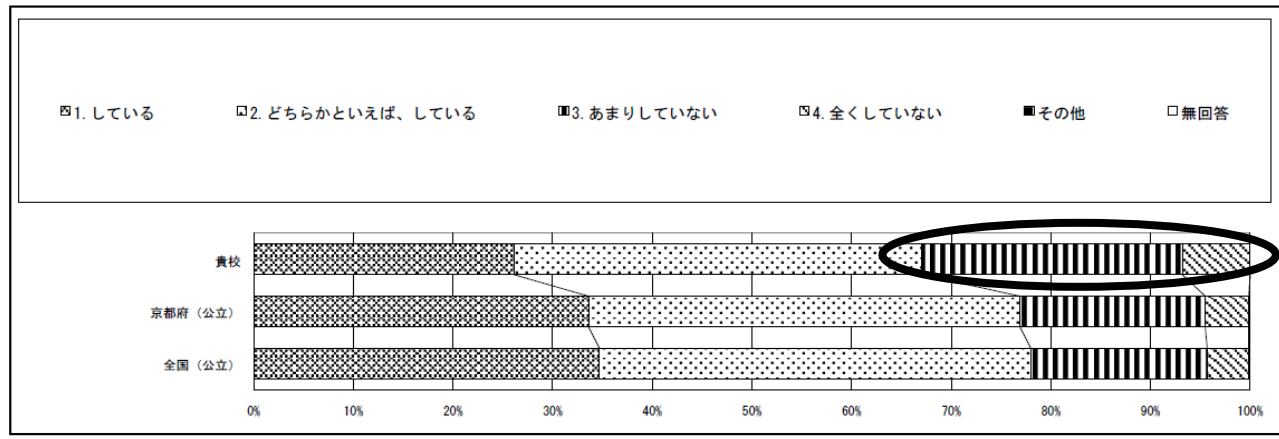


## 生徒質問紙調査から

質問番号	質問事項										
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	18.2	18.2	18.2	18.2	10.2	17.0				0.0	0.0
京都府（公立）	10.8	20.8	28.9	17.6	12.2	9.5				0.0	0.1
全国（公立）	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0				0.0	0.2

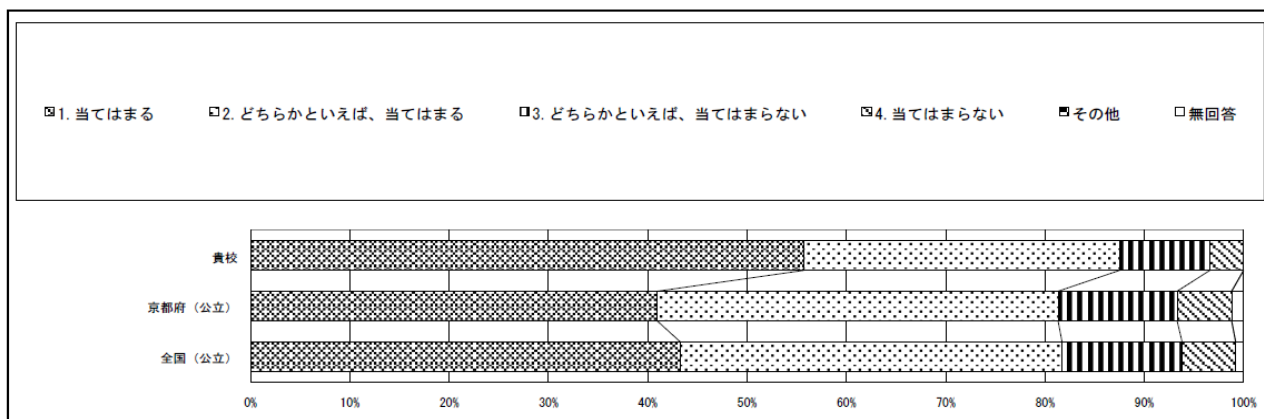


質問番号	質問事項										
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	26.1	40.9	26.1	6.8						0.0	0.0
京都府（公立）	33.6	43.3	18.6	4.4						0.0	0.1
全国（公立）	34.7	43.3	17.7	4.2						0.0	0.1



「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どのくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対し、「1時間以内・30分以内・全くしない」と回答する生徒が全国と京都府を比較しても多いことがわかる。また「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問に対しても同じように、「あまりしていない・まったくしていない」と答える生徒が多いこともわかる。その他、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対しても「あまりしていない・まったくしていない」の回答が多く、このことから、生活習慣に課題があり、家庭で学習と睡眠を両立させるなどの規則正しい時間の使い方をしている生徒が少ないと考えられる。

質問番号	質問事項										
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	55.7	31.8	9.1	3.4						0.0	0.0
京都府（公立）	41.0	40.4	12.0	5.5						0.0	1.2
全国（公立）	43.3	38.5	12.1	5.4						0.0	0.8



学校に行くことについては、「楽しい」と感じている生徒が多く、学校が子どもたちにとって価値のある場所になっているようです。また、「友達に満足している」や「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」で「当てはまる」と回答する生徒が全国・京都府と比較すると、とても多く、学校が“心落ち着く場所”となっていることがわかります。

最後に、生徒は安心して通学している一方、「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どのくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して、「3時間以上」の割合は全国平均を上回り、塾などで学習の定着のために励んでいる生徒がいる一方、「全くしない」、「30分より少ない」、「1時間以内」と答えた生徒が、全体の約40%もいました。学校以外で学習をする習慣について、大きな課題があります。学校としては、学習の定着のために授業以外の場でも学べる場所がつかれるよう、テスト前学習会の強化と八条タイムなどの放課後学習会を開いていきます。

## 保護者の皆様へ

この調査は、子どもたちの学習の状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。

引き続き、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援とともに、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。